



市民・にぎわいスポーツ・消防委員会
令和 7 年 1 2 月 1 2 日
消 防 局

横浜市中期計画2026-2029（素案）

< 消防局 抜き刷り版 >



目次

IV

政策・施策

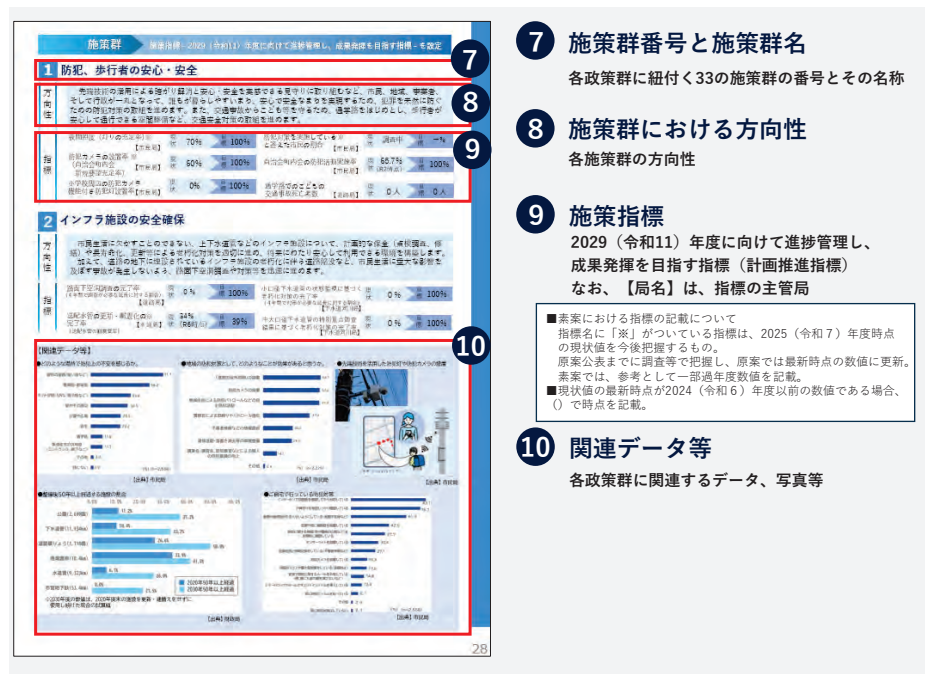
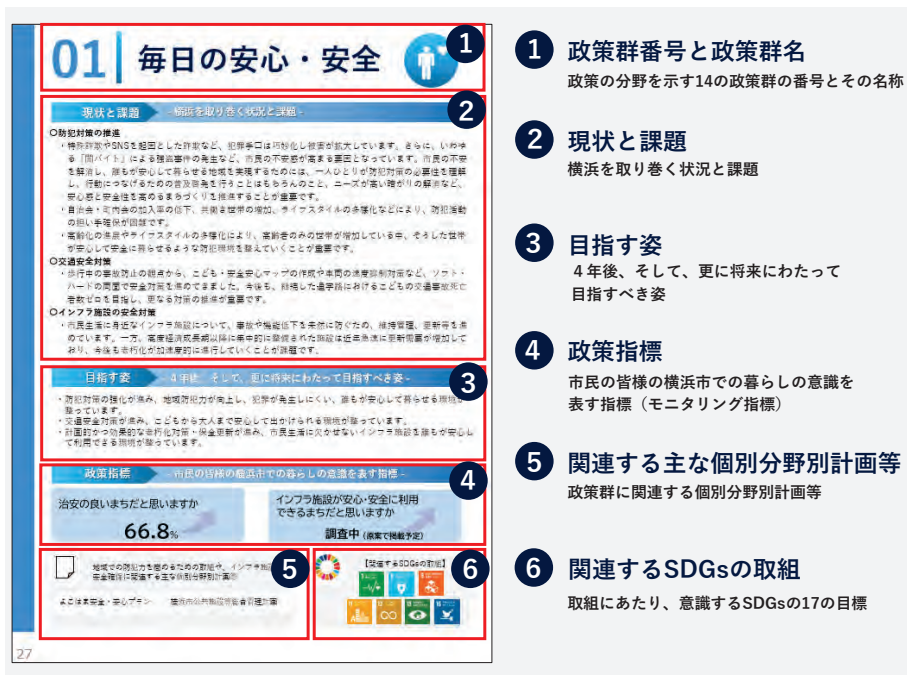
1 14の政策群と33の施策群

政策群02 防災・減災 7（冊子29）頁

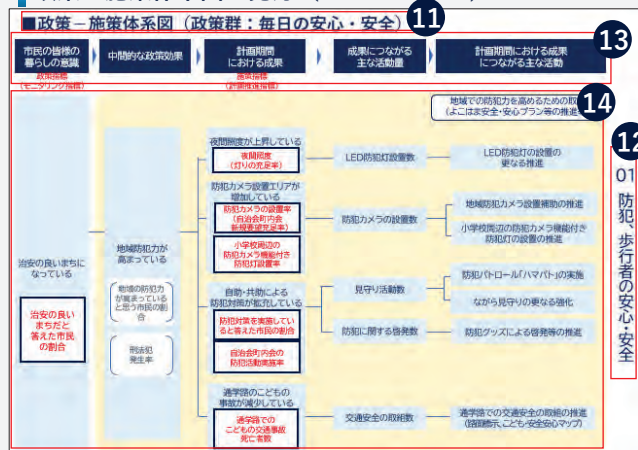
政策群03 医療・保健 9（冊子31）頁

1 14の政策群と33の施策群

ページの見方



政策－施策体系図の見方（55～69ページ）



【関連するSDGsの取組】

【出典】水道局

03 医療・保健



現状と課題 - 横浜を取り巻く状況と課題 -

○医療・救急の持続可能な体制構築

- ・全国の医療需要は2030（令和12）年頃をピークに減少する見込みである一方、横浜市では更なる高齢化の進展などにより2045（令和27）年頃まで入院需要が増加すると予測されています。さらに、生産年齢人口の減少に伴い、医療従事者の不足も顕在化しており、将来の医療提供体制を総合的に検討すると共に、地域全体で効率的かつ適切な医療を提供する体制の構築が重要です。
- ・救急出場件数は近年高い水準で推移しており、今後も高齢化の進展等により、救急需要が増加することが想定されます。

○がん対策

- ・がんは、こどもから高齢者まで誰もがかり患する可能性があり、2人に1人がかり患する病気です。横浜市アンケートでは、がんが怖いと回答した方は9割以上、身近な方ががんになり患していると回答した方も8割以上に達しています。がんは早期発見・早期の治療によって、治る可能性が高くなる病気であることから、がん検診の受診者数を増やすこと、精密検査受診率の向上が重要です。
- ・がん患者やその家族等に対する相談支援、情報へのアクセスを容易にすると共に、治療と生活・仕事の両立支援を推進し、がんになっても自分らしく生活できる環境づくりが重要です。

○健康づくり

- ・誰もが健康で自分らしく活躍できるよう、乳幼児期から高齢期までの継続した生活習慣の改善、歯科健診等による生活習慣病の発症予防や重症化予防、喫煙・受動喫煙の減少等の健康に望ましい行動につながる環境づくりが重要です。

目指す姿 - 4年後、そして、更に将来にわたって目指すべき姿 -

- ・限られた資源を最大限活用し、最適な医療提供体制を構築することで、こどもから高齢者まで誰もが適切な医療を受けられ、本人・家族が安心して生活することができています。
- ・各種がん検診の受診者数の増加により、早期発見・早期治療を進め、がんと診断された方が、適切な医療を受け、安心して生活できる環境が実現しています。
- ・増加が見込まれる救急需要に対し、安定的な救急体制が確保できています。
- ・市民の生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくなる環境づくりを通じて、市民の皆様が健やかな生活を送ることができています。

政策指標 - 市民の皆様が横浜市での暮らしの意識を表す指標 -

安心して適切な医療が受けられる
まちだと思いますか

77.9%



医療・救急体制の充実に向けた取組、市民の健康増進に向けた取組に関連する主な個別分野別計画等

よこはま保健医療プラン2024

第3期健康横浜21



【関連するSDGsの取組】



施策群

施策指標 - 2029（令和11）年度に向けて進捗管理し、成果発揮を目指す指標 - を設定

5 医療・救急・保健

方向性

救急や小児、産科医療等の政策的医療や地域中核病院の再整備等の支援、AI・デジタル技術の積極的な活用等により医療提供体制を確保すると共に、医療や介護の垣根を超えた地域ネットワークの構築、医療人材等の確保・定着に向けた支援や増加が見込まれる救急需要への対応など、地域全体で患者を支える地域完結型医療の実現に向けた取組を進めます。

また、がん検診及びがん精密検査の受診率向上など、がんの早期発見に取り組むと共に、がんと診断された方が適切な医療や相談を受けられるよう、総合的ながん対策を進めます。

さらに、市民の生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、歯科口腔保健や食環境づくりなど、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりに取り組むことで、健やかな生活を支えます。

指標

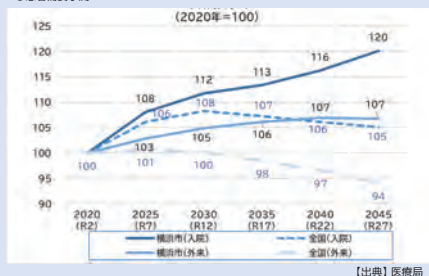
入院医療の市内完結率※ ①急性期 ②回復期 【医療局】	現状 ①82.8% ②85.7% (R5時点)	目標 ①84.5% ②91% (R9時点)
緊急度が高い傷病者に対する 救急車の現場到着平均時間 【消防局】	現状 6分台	目標 6分台を維持
がん検診の受診者数 【医療局】	現状 595,159人	目標 700,000人
がん精密検査の受診率 ※ 【医療局】	現状 右記参照 (R6時点)	目標 90% (R10時点)

AI・デジタルの導入件数 【医療局】	現状 2件	目標 増加 2件以上
健康に気を付けていると答えた 市民の割合 【健康福祉局】	現状 調査中	目標 — %

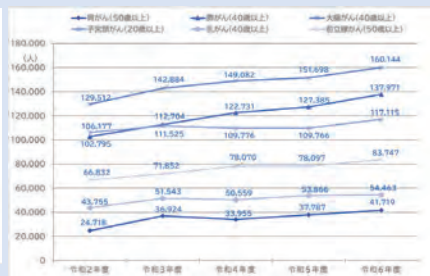
【現状値】	胃 83.4%	肺 73.4%
	大腸 59.3%	子宮頸 53.4%
	乳 84.7%	

【関連データ等】

●患者需要予測



●横浜市がん検診受診者数の推移



●「総合的ながん対策」パッケージ



●救急搬送人員

